



Infor LN サービス 構成管理ユー ザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	tscfgug (U8999)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
構成管理 (CFG).....	7
第2章 構成管理の概念.....	9
設置グループ、サービス.....	9
インストール.....	10
設置グループ構造.....	10
フィジカルブレイクダウン構造、サービス.....	10
フィジカルブレイクダウンログ.....	11
機能要素.....	12
シリアル番号付品目.....	12
シリアル番号付品目の状況.....	13
シリアル番号.....	13
シリアル番号付品目グループ.....	13
フィジカルブレイクダウン構造でのシリアル番号付品目.....	14
代替品目.....	14
シリアル番号付品目ダッシュボード.....	14
設置グループレイアウト例.....	15
サンプル ASCII ファイル.....	16
第3章 マスタデータの設定.....	17
構成データの設定.....	17
構成管理パラメータ (tscfg0100m000).....	18
シリアル番号付品目グループ (tscfg0110m000).....	18
使用クラス (tsspc0130m000).....	18
サービス品目グループ (tsmdm2110m000).....	18
第4章 構成管理手順.....	19
シリアル番号付品目グループを使用するには.....	19
フィジカルブレイクダウンをメンテナンスするには.....	19
完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	20
品目ブレイクダウンからフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	22

販売オーダ (ライン) からフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	23
ASCII ファイルからフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	24
プロジェクトブレイクダウン構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	25
部品表からフィジカルブレイクダウンを作成するには.....	26
フィジカルブレイクダウンを削除するには.....	29
設置グループを定義するには.....	30
設置を作成するには.....	30
品目ブレイクダウンを修正するには.....	31
標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成するには.....	32
サービス検査と予防メンテナンスシナリオ	33
メンテナンストリガセット	33
メンテナンストリガ.....	33
検査.....	34
メンテナンス通知.....	35
メンテナンス通知フォローアップ.....	35
メンテナンス通知の転送.....	35
予防メンテナンスシナリオ	35
予防メンテナンスシナリオライン.....	35
予防メンテナンスシナリオラインパターン.....	36
メンテナンス計画の生成.....	36
付録A 用語集.....	37
索引	

文書情報

目的

本書は、下記の目的のために作成されています。読者が LN サービスに関する一般的知識を有していることを前提としています。

次の概念の理解:

- シリアル番号付品目
- クラスタ
- クラスタライン
- フィジカルブレイクダウン構造
- シリアル番号付品目ダッシュボード
- 機能要素

次のタスクの実行:

- シリアル番号付品目グループを使用するには
- フィジカルブレイクダウンをメンテナンスおよび作成するには
- フィジカルブレイクダウンを削除するには
- クラスタを定義するには
- 品目ブレイクダウンを修正するには
- 標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成するには

本書の概要

このガイドでは、「構成管理」モジュールにおける各種プロセスおよびクラスタの作成/フィジカルブレイクダウンの生成手順について説明します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプのトピックから構成されています。したがって、マニュアル内の他のセクションへの参照は、次の例のように示されます。

詳細については、「LN サービスオンラインヘルプ」を参照してください。

参照先のセクションを見つけるには、目次を参照してください。

下線が付いた用語は、用語集定義へのリンクを示しています。本書をオンラインで表示している場合は、下線付テキストをクリックすると、本書の最後にある用語集定義にジャンプします。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

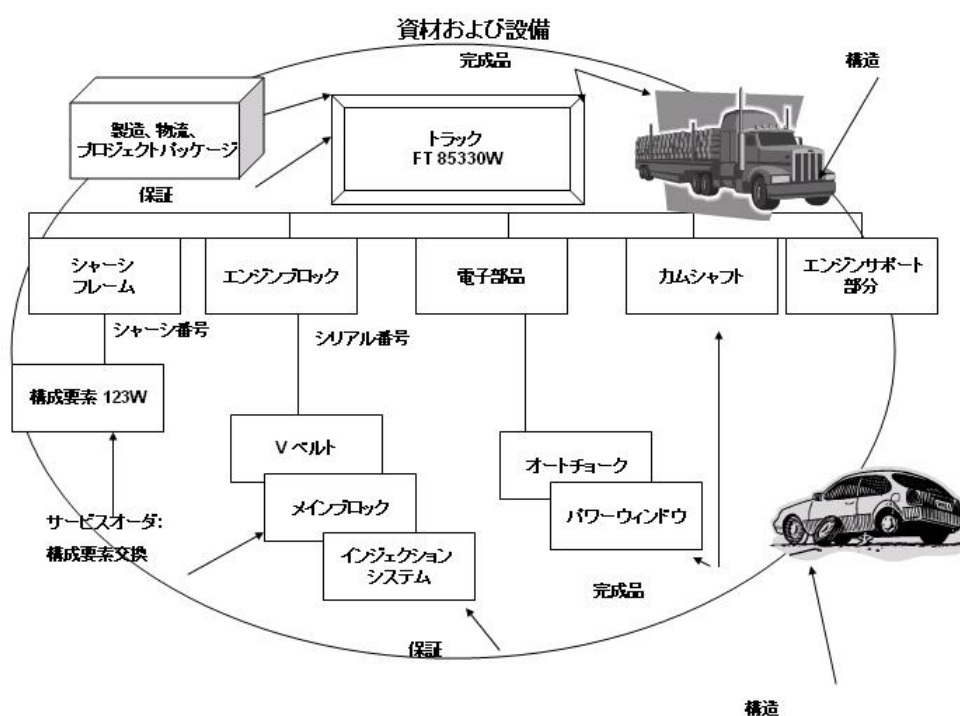
製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡くださいますようお願いいたします。

この章では、「構成管理」機能の概要を示します。

構成管理 (CFG)

構成管理は、顧客、製造部署、または計画部署に、設置基準に関する正確な情報を提供し、資産構成の詳細を含めます。資産は、シリアル番号付品目または顧客が所有する装置のいずれかです。構成管理モジュールは、複数レベルの構成構造の定義と処理を行います。



次のものの定義およびメンテナンスを行うには、構成管理モジュールを使用します。

- シリアル番号付品目グループ: シリアル番号付品目グループは、サービスオーダーの計画中使用します。シリアル番号付品目は、特定のシリアル番号付品目グループに定義されたスキルに基づいてサービスエンジニアを選択するときの計画制約としても機能します。

- 機能要素: 同一の機能を持つ交換可能な品目のグループです。機能要素は、品目ブレイクダウン、フィジカルブレイクダウン、および参照活動で使用できます。たとえば、構成のメンテナンス活動を定義すると、機能要素を指定できます。このようにして、活動をその機能要素の対象となるすべての品目に適用します。これにより、同様の品目について何度も同じ参照活動を指定する必要がなくなります。
- 設置グループ: ロケーションが同じで、同じ取引先が所有するシリアル番号付品目のセットです。シリアル番号付品目を設置グループに集めることで、まとめてメンテナンスすることができます。
- 設置: 設置グループに所属する品目またはシリアル番号付品目のリストです。
- 品目ブレイクダウン: 品目ブレイクダウンを使用して、フィジカルブレイクダウンを作成できます。さらに、品目ブレイクダウン内で(子)品目が使用されている位置を検索し、標準製造 BOM を品目ブレイクダウンにコピーして、品目ブレイクダウン内の品目を置換または削除することができます。
- シリアル番号付品目: シリアル番号付品目を使用して、フィジカルブレイクダウンを作成することができます。
- フィジカルブレイクダウン: 設置グループ構成に定義され、構造の完成状態構造およびメンテナンス可能構造を表示できます。

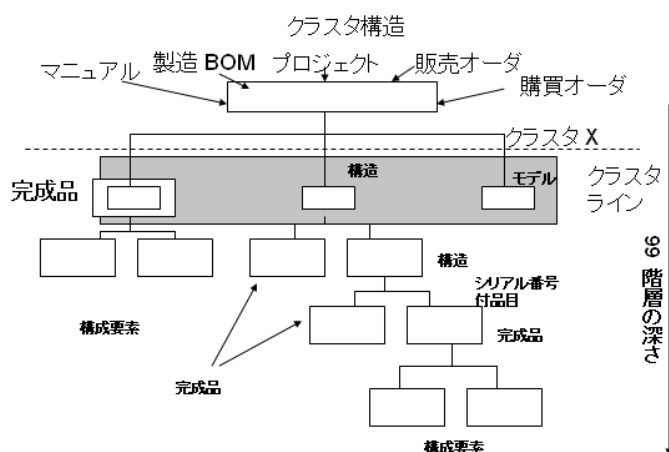
この章では、「構成管理」モジュールの概念について簡単に説明します。

設置グループ、サービス

設置グループは、ロケーションが同じで、同じ取引先が所有するシリアル番号付品目のセットです。シリアル番号付品目を設置グループに集めることで、まとめてメンテナンスすることができます。設置グループにより、特定の顧客、サイト、または契約について複数のオブジェクトを関連付けることができます。

オブジェクトのグループのロケーションとして、設置グループを定義することもできます。主要データとして、設置グループのロケーション詳細およびサービスセンタ詳細があります。その他の詳細は、下位レベルのオブジェクトのデフォルトとしてのみ使用されます。

設置グループはオブジェクト明細の最上位レベルにあり、取引先、ロケーション、カレンダーなど、設置グループに属する全オブジェクトのヘッダ情報を含みます。顧客が購入する特定の設置グループ (設置基準) を登録できます。



シリアル番号付品目またはフィジカルブレイクダウン構造を含めるには、設置グループにリンクされた設置グループラインに品目または最上位品目を含めます。

設置グループの定義

設置グループおよびその構造をマニュアルで定義することができます。または、サービス部品表、購買オーダー、販売オーダー、およびプロジェクトの作業のブレイクダウン構造または要素構造から、設置グループを生成できます。

例

次の設置グループを定義できます。

- 特定の建物内にある全コンピュータハードウェア
- 大型建物内の空調装置

設置グループのリンク

設置グループは、次の方法でリンクすることができます。

- 設置グループを取引先にリンクして、設置グループを外部設置グループとして指定します。
- 設置グループをワークセンタまたは部署にリンクして、設置グループを内部設置グループとして指定します。

インストール

設置は、設置グループに所属する品目またはシリアル番号付品目のリストです。設置は一意のオブジェクトでも、汎用モデルでもかまいません。設置は設置グループ構造の最上位レベルにあります。

設置グループ構造

設置グループ構造は、シリアル番号付品目の明細とも呼ばれます。設置グループ構造は、設置グループとして同じロケーションおよび顧客を持つシリアル番号付品目のリストです。設置グループ構造は、最低 1 つの設置で構成されます。各フィジカルブレイクダウン構造、または各シリアル番号付品目は、設置グループ構造の一部またはメンバになることができます。

構造を作成するには、シリアル番号付品目の関係を定義する必要があります。設置グループ構造は最大 99 レベルを持つことができ、視覚的に表示できます。

フィジカルブレイクダウン構造、サービス

フィジカルブレイクダウンを使用して、シリアル番号付品目間の関係を表示することができます。フィジカルブレイクダウンはシリアル番号付品目を相互に関連付けます (親子関係)。フィジカルブ

レイクダウンを展開して、構成内のシリアル番号付品目の全構造を示す (複数レベルの) ブレイクダウン構造を表示できます。フィジカルブレイクダウンの概念は Infor LN で導入されています。

フィジカルブレイクダウンの作成

サービス活動およびメンテナンス活動中に製品構成 (ブレイクダウン構造) を管理するため、フィジカルブレイクダウンを設定することができます。

サービスオーダ管理モジュールで、サービスオーダ活動を処理して有効なフィジカルブレイクダウンを更新することができます。

構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションで、[構成状況の使用] チェックボックスをオンにします。フィジカルブレイクダウン (tscfg2110m000) セッションで、フィジカルブレイクダウンをメンテナンスすることができます。

以下のいずれかのオプションを使用して、フィジカルブレイクダウンを作成できます。

- 完成状態構造
- 品目ブレイクダウン
- ASCII ファイル
- プロジェクトブレイクダウン構造

フィジカルブレイクダウンの有効化

フィジカルブレイクダウンを有効化するには、最上位のシリアル番号付品目を [有効] に設定します。品目のフィジカルブレイクダウンのイベントおよび変更内容がすべて、自動的にログに記録されます。

フィジカルブレイクダウンログ

フィジカルブレイクダウンログは、フィジカルブレイクダウン構造内の個々の変更内容をトレース可能にし、正式に管理する目的で使用されます。当初のフィジカルブレイクダウン、およびそれに対して実行したアクションと共に特定される全修正内容が、フィジカルブレイクダウンログに保存されます。

フィジカルブレイクダウンログを作成するには、構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションで [フィジカルブレイクダウンログの作成] チェックボックスをオンにします。

注意

設置または削除は自動的に記録されますが、次の条件をいずれも満たしている場合に限られます。

- シリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションにおけるシリアル番号付品目の状況が [有効] である
- 構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションの [構成状況の使用] チェックボックスまたは [フィジカルブレイクダウンログの作成] チェックボックスがオンである

フィジカルブレイクダウン (tscfg2110m000) セッションで開始できる グラフィカルブラウザフレームワーク (GBF) では、このセッションのデータも使用します。

機能要素

機能要素は、同一の機能を持ち置換可能な品目のグループで、品目ブレイクダウン、フィジカルブレイクダウン、および参照活動で使用できます。

機能要素を使用して、以下のことができます。

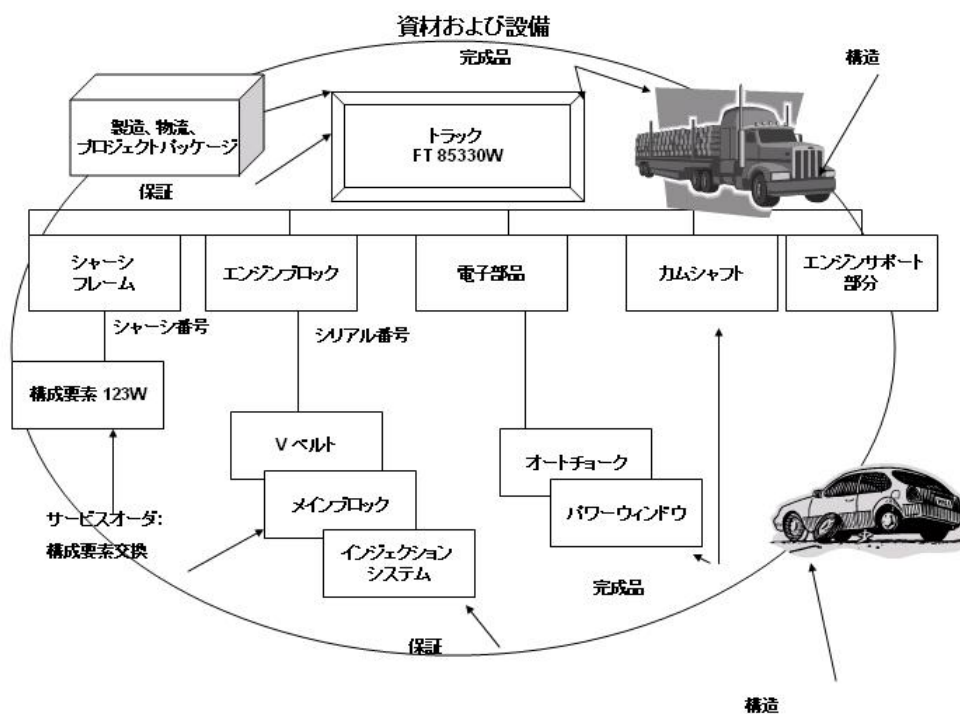
- 同じ参照活動を複数定義するのではなく、類似品目を持つグループについて複数の参照活動を 1 回で定義する
- 品目ブレイクダウン内の特定の位置について、複数の交換可能品目をリストする

品目 Fan-54576787 の取り外しを定義する代わりに、ファンの取り外しを記述する単一の参照活動を定義できます。参照活動を作業オーダーにリンクすると、フィジカルブレイクダウンに配置される実際の品目を指定できます。

- 一般サービスパラメータ (tsmdm0100m000) セッションの [機能要素の使用] チェックボックスがオンの場合に限り、機能要素を定義できます。
- フィジカルブレイクダウンで機能要素を変更することはできません。
- 親品目と子品目の組合せは、1 つの機能要素にのみ属することができます。

シリアル番号付品目

シリアル番号付品目は、寿命全体を通じて一意のシリアル番号を付与された標準品目の物理的な存在です。これにより、設計、製造、テスト、設置、メンテナンスのフェーズなど、寿命全体を通じて、個々の品目の追跡が可能になります。シリアル番号付品目は、他の複数のシリアル番号付品目で構成できます。



サービスでは、シリアル番号付品目は、複写機、コンピュータ、空調装置、フォークリフト、旋盤機械、または航空機までの複数の品目で構成される、顧客に固有の設置グループまたは所有者に固有の設置グループにすることができます。

シリアル番号付品目は、品目コードおよびシリアル番号の組合せで指定されます。シリアル番号に品目グループおよび製造元など、一部の品目データのフィールドが含まれるように、シリアル番号の生成に使用するマスクを設定することができます。

複数の会社がある構造では、会社間でシリアル番号付品目データを共有できます。さまざまな会社の全サービス部署で、同じシリアル番号付品目を参照できます。

シリアル番号付品目は、販売オーダーまたはプロジェクトから発生できます。シリアル番号付品目の詳細は、たとえば販売オーダーおよびプロジェクトから発生した品目について、シリアル番号の特定セットを使用することにより、発生元を示します。また、シリアル番号付品目は、完成状態構造から、または製造の製造部品表から直接発生できます。

サービスでは、シリアル番号付品目のライフサイクルを完成状態モードまたはメンテナンス可能状態モードで開始できます。各シリアル番号付品目は、設置グループの有無にかかわらず、サービス契約または保証の適用対象にできます。

シリアル番号付品目の状況

シリアル番号付品目の状況を管理することができます。

各シリアル番号付品目は、次の状況をとることができます。

- [開始]
シリアル番号が割り当てられていますが、品目はまだサービスオーダーまたは契約に含められていません。状況を「有効」に変更することだけができます。
- [有効]
シリアル番号付品目は、サービスオーダーまたは契約の一部です。状況を「改訂」に変更することだけができます。
- [改訂]
状況を「有効」に変更することだけができます。

シリアル番号

個々の製造品目または購買品目に、一意のシリアル番号が割り当てられます。シリアル番号は、ライフサイクルでの品目を追跡するために割り当てられます。

品目にダミーシリアル番号を定義できます。ダミーシリアル番号は一時的な番号で、恒久的な番号が割り当てられるまで、品目のモニタに使用できます。例

各シリアル番号付品目について、顧客の参照用に代替シリアル番号を定義することができます。代替シリアル番号を使用して、コールの登録、サービスオーダー活動の作成、またはメンテナンス販売オーダーの部品ラインの登録を行うときに品目を検索できます。

シリアル番号付品目グループ

シリアル番号付品目グループを使用して、シリアル番号付品目をグループ化できます。シリアル番号付品目グループは、類似の機能を持つシリアル番号付品目のグループです。

必要なシリアル番号付品目グループを定義して、たとえば品目のメンテナンスに必要なスキルを分類したり、照会およびレポートの基礎にすることができます。

たとえば、特定のシリアル番号付品目グループについて、スキルを基にしてサービスエンジニアを選択できます。

フィジカルブレイクダウン構造でのシリアル番号付品目

シリアル番号付品目は、フィジカルブレイクダウン構造を構成するブロックです。フィジカルブレイクダウン構造は、シリアル番号付品目のセットと、基になる部品および組立品との関係を定義したものです。複写機などの一部のシリアル番号付品目の構造は単純ですが、一方船舶や航空機などのシリアル番号付品目の構造は複雑です。

最上位シリアル番号付品目はフィジカルブレイクダウン構造の最上位レベルにありますが、下部構造は有効な、または失効した組立品で構成されます。構造をグラフィック表示するには、[ツリーの表示] オプションを使用します。

ブレイクダウン内の各シリアル番号付品目を、構造全体の共通機能と共に機能要素とリンクして、機能の重要度に基づいてシリアル番号付品目をグループ化するために使用できます。

代替品目

代替品目は、標準品目が納入されない場合や標準品目が置換された場合の代替として機能します。1つの標準品目に対して代替可能な品目が複数ある場合は、それぞれの代替品目に優先順位コードを割り当てることができます。

さまざまな親品目の品目ブレイクダウンで構成要素に対して代替品目を指定できます。親品目にもとづいて適切な代替品目を選択できます。

品目ブレイクダウン関係が削除されると、該当する代替品目も削除されます。品目ブレイクダウンで変更が行われると、代替品目の該当品目を更新する必要があります。

シリアル番号付品目ダッシュボード

セッションの目的: 複数のモジュールにわたって、オーダ、コール、契約構成ライン、フィールド変更オーダライン、ジョブ見積、検査登録、故障解析、および外注契約ラインに関連するさまざまな現在および過去のテーブルで使用されるシリアル番号付品目の詳細を表示します。

シリアル番号付品目の一覧からシリアル番号付品目を選択するには、[シリアル番号付品目ダッシュボード (tscfg2100m100)] セッションを使用します。機能要素、ライフサイクル、サービスエリア、保証タイプなどの、シリアル番号付品目の詳細がセッションで表示されます。

シリアル番号付品目詳細を表示するには、一覧にある、目的のシリアル番号付品目ラインをダブルクリックします。

[追加情報] の下にある、オンにしたチェックボックスにより、選択したシリアル番号付品目に使用できる特定データが指定されます。

設置グループレイアウト例

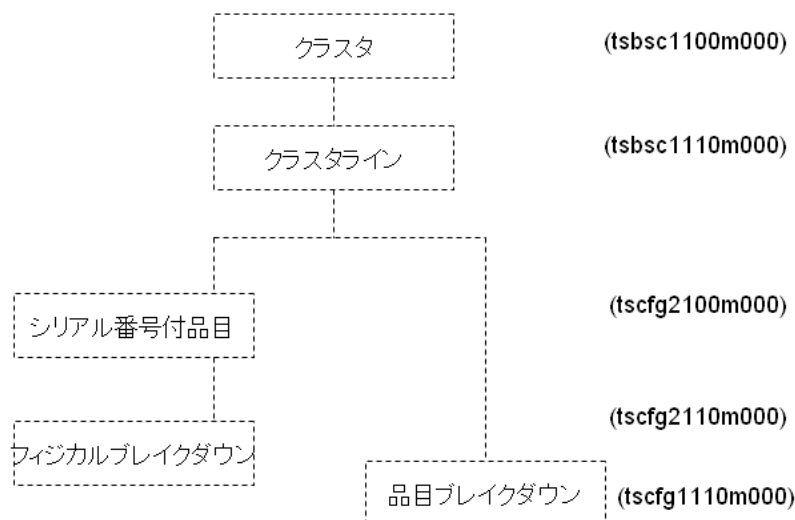
この例では、設置グループを構成要素で構成する方法を示します。構造の複雑さに応じて、設置グループは次から構成されます。

- 設置
- シリアル番号付品目
- フィジカルブレイクダウン
- 品目ブレイクダウン

構造ツリーを表示するには、以下のセッションの適切なメニューから [ツリーの表示] を選択します。

- 設置グループ (tsbsc1100m000) 設置グループ構造ツリーを表示するには、最上位レベルの構造ツリーをクリックします。
- フィジカルブレイクダウン (tscfg2110m000) フィジカルブレイクダウン構造ツリーを表示します。
- 品目ブレイクダウン (tscfg1110m000) 品目ブレイクダウン構造を表示します。

設置グループの構造は、次のような外観になっています。



サンプル ASCII ファイル

ASCII ファイル内での引数の位置は以下のとおりです。

親品目

親品目のシリアル番号

フィジカルブレイクダウン内の子品目の位置番号

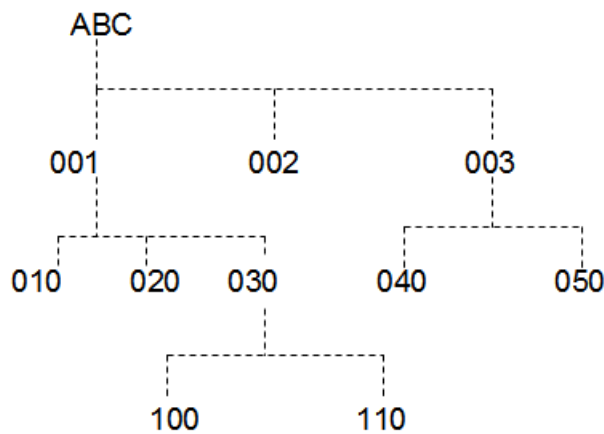
子品目

子品目のシリアル番号

ABC	SN515	10	001	SN217
ABC	SN515	20	002	SN317
ABC	SN515	30	003	SN017
001	SN217	10	010	SN0027
001	SN217	20	020	SN0037
001	SN217	30	030	SN0117
003	SN017	10	040	SN0217
003	SN017	20	050	SN0217
030	SN0117	10	100	SN00047
030	SN0117	20	110	SN00147

セパレータ | (縦線)

ASCII ファイルから作成するフィジカルブレイクダウンは、以下のように表示されます。



この章では、「構成管理」モジュールのマスターデータを設定する際に従う必要があるステップについて説明します。

構成データの設定

サービス品目、サービス BOM、オブジェクトおよび構成を定義するには、サービス品目の作成に使用できるデータを入力する必要があります。構成データは LN 全体で使用されるので、できる限りすべてのデータを入力する必要があります。

構成管理に関連する LN の他のモジュールの機能

- マスターデータ管理 (MDM) は、サービス品目グループおよびサービス品目用であり、これらのデータで構成されます。そして、これらのデータは、品目ブレイクダウン、シリアル番号付品目、および設置グループの定義に役立ちます。
- 品目基準データ (IBD) には、サービス品目の作成に必要な各品目のデータがあります。
- 工順 (ROU) は機械およびワークセンタのメンテナンスに使用され、オブジェクトおよび構成の定義時にも使用できます。
- サービス計画および概念 (SPC) では、各モデルの活動予測、および各構成とそれに含まれるオブジェクトのメンテナンス計画の生成ができます。
- コール管理 (CLM) は、オブジェクトおよび構成に関するサービスコールを追跡します。
- 契約管理 (CTM) は、オブジェクトおよび構成にリンクされた契約を追跡します。
- サービスオーダー管理 (SOC) は、オブジェクトおよび構成についてサービスオーダーを作成します。
- 履歴および統計 (HST) は、オブジェクトおよび構成について履歴情報および統計情報を記録します。

構成の設定セッション

次のセッションで、構成データを入力します。

1. 構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションで構成管理パラメータを設定します。
2. シリアル番号付品目グループ (tscfg0110m000) セッションでシリアル番号付品目グループを定義します。
3. 使用クラス (tsspc0130m000) セッションで使用クラスを定義します。

4. サービス品目グループ (tsmdm2110m000) セッションでサービス品目グループを定義します。

構成管理パラメータ (tscfg0100m000)

構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションの設定は、構成管理モジュールの動作に影響します。

シリアル番号付品目グループ (tscfg0110m000)

シリアル番号付品目グループ (tscfg0110m000) セッションを使用してシリアル番号付品目グループを定義します。シリアル番号付品目グループは、類似の機能を持つオブジェクトのグループです。サービスオーダーを計画するときに、シリアル番号付品目グループを使用することができます。たとえば、シリアル番号付品目グループについて、サービスエンジニアのスキルに基づいて、サービスエンジニアを選択できます。シリアル番号付品目グループの作成はユーザが定義しますが、通常は類似のオブジェクトグループに関連します。

使用クラス (tsspc0130m000)

使用クラスは、環境要因に基づく使用の分類です。使用クラスは、モデル、構成、またはオブジェクトに付属されます。使用クラスを使用して、単一のオブジェクトまたはモデルに対して、複数のメンテナンス概念を定義できます。

例

トラックの使用、および得られた特定のメンテナンス所要量に基づいて、トラックの使用クラスを「国内」または「国際」にできます。

サービス品目グループ (tsmdm2110m000)

サービス品目グループは、共通の特徴を持つ品目のグループです。サービス品目をグループ化する利点は、契約、見積、または保証に複数の品目を簡単に割り当てられることです。たとえば、バスケットをすべて契約の適用対象にする場合、バスケットを同じサービス品目グループに割り当てて、その品目グループを契約に含めます。データを入力する前に、サービス品目グループを定義する必要があります。

この章では、構成管理手順について説明します。

シリアル番号付品目グループを使用するには

シリアル番号付品目グループは、類似の機能を持つシリアル番号付品目のグループです。シリアル番号付品目グループ (tscfg0110m000) セッションを使用してシリアル番号付品目グループを定義します。

サービスオーダーを計画するときに、シリアル番号付品目グループを使用することができます。

例

シリアル番号付品目グループを使用して、特定のシリアル番号付品目グループに対するサービスエンジニアのスキルに基づいて、サービスエンジニアを選択することができます。シリアル番号付品目グループの作成はユーザが定義しますが、通常は類似のオブジェクトグループに関連します。

サービスオーダー計画を生成するときに、シリアル番号付品目グループを使用することができます。サービスオーダーを遂行するサービスエンジニアがLNによって選択されるときに、計画の制約としてサービス従業員のスキルおよびシリアル番号付品目グループを使用することができます。

フィジカルブレイクダウンをメンテナンスするには

サービス活動およびメンテナンス活動中に製品構造 (ブレイクダウン構造) を管理するために、フィジカルブレイクダウンを設定することができます。フィジカルブレイクダウンを使用して、シリアル番号付品目間の関係を表示します。

サービスオーダー管理モジュールで、サービスオーダー活動を処理することができます。さらにサービスオーダー活動を使用して、有効なフィジカルブレイクダウンを更新することができます。

構成管理パラメータ (tscfg0100m000) セッションの [構成状況の使用] チェックボックスがオンの場合、最上位シリアル番号品目が「有効」に設定されているときにフィジカルブレイクダウンが有効になります。このイベント、およびフィジカルブレイクダウンに対する以降の変更は自動的にログに記録されます。

フィジカルブレイクダウンをメンテナンスするには

フィジカルブレイクダウンをメンテナンスするには、フィジカルブレイクダウン (tscfg2110m000) セッションを使用します。

このセッションの適切なメニューを使用して、以下のいずれかからフィジカルブレイクダウンを作成します。

- 完成状態構造
- 品目ブレイクダウン
- ASCII ファイル
- プロジェクトブレイクダウン構造

注意

品目ブレイクダウンでカスタマイズされていない品目については、ブレイクダウン構造を設定することができます。

完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには

フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを使用して、完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成すると、製造のシリアル完成品 - 完成状態ヘッダ (timfc0110m000) セッションにあるシリアル番号付品目が、サービスのシリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションに直接コピーされます。フィジカルブレイクダウンは、完成状態構造と同じ構造で作成されます。

注意

- 完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには、製造を導入する必要があります。導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションの [製造 (TI)] チェックボックスを参照してください。
- 見込品目では、シリアル番号付品目を子品目とすることはできません。

完成状態構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには

1. フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを開始します。
2. [ソース] フィールドから完成状態構造を選択します。
3. 完成状態構造領域で、コピー元となる完成状態 (最上位) 品目およびシリアル番号を入力または選択します。完成状態 (最上位) 品目を、管理対象のロットとすることはできません。完成状態 (最上位) 品目について、シリアル完成品 - 完成状態構成要素 (timfc0111m000) セッションに完成状態の構成要素データがあることを確認します。完成状態の構成要素データ内にあるシリアル番号のない品目は、品目 (tcibd0501m000) セッションに存在する必要があります。それ以外の場合、フィジカルブレイクダウンが作成されません。
4. [リンク先] セクションの [ターゲット] フィールドから、次のいずれかを選択します。

- [設置グループ]
品目ブレイクダウンの最上位品目は、フィジカルブレイクダウンに最上位シリアル番号付品目として設定されます。品目ブレイクダウンの全レベルにある構成要素が、正確にシリアル番号付品目にコピーされます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
 - [ブレイクダウン]
品目ブレイクダウンの最上位品目は、入力するフィジカルブレイクダウンに子品目として存在する必要があります。品目ブレイクダウンの全レベルにある構成要素が、正確にシリアル番号付品目にコピーされます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
 - [新規ブレイクダウン]
LN によって、フィジカルブレイクダウンが新規作成されます。
5. デフォルト領域で、次の項目を入力または選択します。
 - 新規作成するシリアル番号付品目が属するシリアル番号付品目グループ
 - サービス部署 (オプション)
 - 出庫時間 (オプション)
 6. 必要に応じて、[処理レポート]チェックボックスおよび[エラーレポート]チェックボックスをオンにします。
 7. 作成をクリックします。

設置グループにコピーされる完成状態構造

- 設置グループ構成が新規作成されます。
- 完成状態構造の最上位品目は、フィジカルブレイクダウンに最上位シリアル番号付品目として設定されます。
- 完成状態構造の全レベルにある子品目 (完全状態の構成要素データ) は、正確にフィジカルブレイクダウンにコピーされます。
- シリアル番号付の完成状態の構成要素が、シリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションにコピーされます。シリアル番号のない完成状態の構成要素は、品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションにコピーされます。

ブレイクダウンにコピーされる完成状態構造

- 完成状態構造の最上位品目は、入力するフィジカルブレイクダウンに子品目として存在する必要があります。
- 完成状態構造の全レベルにある子品目 (完全状態の構成要素データ) は、正確にフィジカルブレイクダウンにコピーされます。
- シリアル番号付の完成状態の構成要素が、シリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションにコピーされます。シリアル番号のない完成状態の構成要素は、品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションにコピーされます。

新しいブレイクダウンにコピーされる完成状態構造

- 完成状態構造の全レベルにある子品目 (完全状態の構成要素データ) は、正確にフィジカルブレイクダウンにコピーされます。

- シリアル番号付の完成状態の構成要素が、シリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションにコピーされます。シリアル番号のない完成状態の構成要素は、品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションにコピーされます。

品目ブレイクダウンからフィジカルブレイクダウンを作成するには

フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを使用して、品目ブレイクダウンからフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

品目ブレイクダウンからフィジカルブレイクダウンを作成するには、次のステップを実行します。

1. フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを開始します。
2. [ソース] フィールドから [品目ブレイクダウン] を選択します。
3. 品目ブレイクダウン領域で、品目ブレイクダウンの最上位品目を入力します。
4. [ターゲット] フィールドで、以下のいずれかを選択します。
 - [設置グループ]
品目ブレイクダウンの最上位品目は、フィジカルブレイクダウンに最上位シリアル番号付品目として設定されます。品目ブレイクダウンの全レベルにある構成要素は、正確にシリアル番号付品目にコピーされます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
 - [ブレイクダウン]
品目ブレイクダウンの最上位品目は、入力するフィジカルブレイクダウンに子品目として存在する必要があります。品目ブレイクダウンの全レベルにある構成要素は、正確にシリアル番号付品目にコピーされます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
 - [新規ブレイクダウン]
LN によって、フィジカルブレイクダウンが新規作成されます。
5. デフォルト領域で、次の項目を入力または選択します。
 - 新規作成されるシリアル番号付品目が属するシリアル番号付品目グループ
 - サービス部署 (オプション)
 - 出庫時間 (オプション)
6. [品目の有効性] の [有効性のチェック] チェックボックスをオンにして、LN が品目ブレイクダウンの構成要素の有効性をチェックするために使用する日付を入力します。LN で、入力した日付の時点で有効な構成要素のみがコピーされます。すべての構成要素をコピーする場合は、[有効性のチェック] チェックボックスをオフのままにします。
7. [オプション] 領域の [ダミーシリアル番号の生成] チェックボックスをオンにし、必要に応じてその他のチェックボックスもオンにします。
8. 作成をクリックします。

注意

品目ブレイクダウンを標準の製造 BOM からコピーすることができます。

販売オーダ(ライン)からフィジカルブレイクダウンを作成するには

フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを使用して、販売オーダ (ライン) からフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

注意

- 販売オーダまたは販売オーダラインからフィジカルブレイクダウンを作成するには、販売を導入する必要があります。導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションで [オーダ管理 (TD)] チェックボックスを参照します。
- これ以降、「オーダ」の記述は販売オーダを指します。

オーダラインの品目をカスタマイズしている場合、カスタマイズされたBOMを使用して、フィジカルブレイクダウン構造を新規に作成します。カスタマイズされたBOMは、部品表 (tibom1110m000) セッションで品目のプロジェクトセグメントによって識別されます。

販売オーダラインからフィジカルブレイクダウンを作成する前に、次の3つの予備ステップを実行する必要があります。

1. 販売オーダラインを設置グループにリンクします。
2. 販売オーダを倉庫管理に発行します。
3. 倉庫出庫の出庫作業手順を実行します。

予備ステップ

ステップ 1: 販売オーダラインを設置グループにリンクします。

1. 販売オーダライン (tdsls4101m000) セッションを開始します。
2. 適切なメニューの [販売後]、[設置グループを販売オーダラインにリンク] の順に選択します。
3. 設置グループを販売オーダラインにリンク (tscfg2201m000) セッションの [選択範囲] 領域で、販売オーダ(および、該当する場合は販売オーダライン)を入力または選択します。
4. 販売オーダ (ライン) のリンク先の設置グループを入力または選択します。
5. [リンク] をクリックします。

ステップ 2: 販売オーダの倉庫管理への発行

1. 販売オーダ (tdsls4100m000) セッションを開始します。
2. 適切な販売オーダを選択して、適切なメニューの [倉庫管理に発行] をクリックします。
3. 販売オーダの倉庫管理への発行 (tdsls4246m000) セッションで、その他の必要なデータを入力します。
4. [発行] をクリックします。

ステップ 3: 倉庫出庫の出庫作業手順の実行

1. 倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションで、倉庫オーダが作成されているかどうかをチェックします。
2. 適切なメニューで該当するオプションを使用し、出庫勧告を生成して発行します。
3. 倉庫オーダ (whinh2100m000) セッションの適切なメニューで [出荷ライン] をクリックします。
4. 出荷 - ライン (whinh4131m000) セッションで出庫ラインを選択し、適切なメニューの [出荷および積荷の凍結/確認] をクリックします。

販売オーダラインからフィジカルブレイクダウンを作成するには

1. フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを開始します。
2. [ソース] を [品目ブレイクダウン] に設定します。
3. [納入] チェックボックスをオンにします。
4. [選択範囲] 領域で、該当する設置グループ、品目、またはシリアル番号付品目データを入力します。
5. [ターゲット] タブの [デフォルト] 領域で、新規作成されるシリアル番号付品目が所属できるシリアル番号付品目グループを入力または選択します。
6. 必要に応じて、サービス部署および納期を指定します。
7. [品目の有効性] の [有効性のチェック] チェックボックスをオンにして、LN が品目ブレイクダウンの構成要素の有効性をチェックするために使用する日付を入力します。LN で、入力した日付の時点で有効な構成要素のみがコピーされます。すべての構成要素をコピーする場合は、[有効性のチェック] チェックボックスをオフのままにします。
8. [オプション] 領域で、[ダミーシリアル番号の生成] チェックボックスおよび必要に応じてその他のチェックボックスをオンにします。
9. [処理] をクリックします。

LN で次のように処理されます。

- 品目のシリアル番号付品目が、各オーダラインに作成されます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
- オーダラインの品目に品目ブレイクダウンがある場合、品目のブレイクダウン構成要素についてシリアル番号付品目も作成します。
- 販売品目が倉庫管理から出荷され、倉庫管理でこれらの販売品目にシリアル番号が作成された場合は、これらのシリアル番号を使用して最上位シリアル番号付品目を作成します。

ASCII ファイルからフィジカルブレイクダウンを作成するには

ASCII ファイルからのフィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m100) セッションで、ASCII ファイルからフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

注意

- サービス品目が品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションに存在する必要はありません。LN によりサービス品目が作成されます。
- シリアル番号付品目がシリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションに存在する必要はありません。LN でシリアル番号付品目が作成されます。
- ASCII ファイルからフィジカルブレイクダウンを作成する前に、品目 (tcibd0501m000) セッションで品目データが利用可能であることを確認します。

ASCII ファイルからフィジカルブレイクダウンを作成するには

1. ASCII ファイルからのフィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m100) セッションを開始します。
2. [ターゲット] セクションの [リンク先] フィールドから、次のいずれかを選択します。
 - [設置グループ]
フィジカルブレイクダウンのリンク先となる設置グループを選択します。
 - [ブレイクダウン]
フィジカルブレイクダウンのリンク先となるシリアル番号付品目を選択します。
 - [新規ブレイクダウン]
LN によって、フィジカルブレイクダウンが新規作成されます。
3. デフォルト領域で、次の項目を入力または選択します。
 - 新規作成するシリアル番号付品目が属するシリアル番号付品目グループ
 - 出庫時間 (オプション)
4. [入力ファイル] フィールドに、ASCII ファイルがある場所へのパスを入力します。
5. 必要に応じて、[処理レポート] チェックボックスおよび[エラーレポート] チェックボックスをオンにします。
6. 作成をクリックします。

プロジェクトブレイクダウン構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには

プロジェクト構造から、基礎となる要素または活動構造、および特定の構造の材料ラインと共にコピーすることにより、フィジカルブレイクダウンを作成することができます。この処理では、コピー元の要素または活動の基礎となる材料ラインもコピーできます。プロジェクトブレイクダウン構造のコピー (tscfg2210m200) セッションで、プロジェクトブレイクダウン構造からフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

このセッションでは、次の項目からフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

- 要素構造
- 活動構造

注意

このセッションを使用できるのは、プロジェクトが導入されている場合のみです。

プロジェクトブレイクダウン構造からフィジカルブレイクダウンを作成するには、次のステップを実行します。

ステップ 1: [プロジェクト] フィールド

プロジェクトを入力または選択します。入力したプロジェクトについて、一般プロジェクト (tcmcs0552m000) セッションの [プロジェクトパッケージリンク] フィールドの値が、「プロジェクト」(プロジェクト) であることが必要です。フリープロジェクトを使用する場合、コピー後のプロジェクトに対する変更内容は、サービスに処理されないことに注意してください。

ステップ 2: [発生元の構造] フィールド

次の項目から選択します。

- [活動構造]
先行計画が使用されます (プロジェクト (tpdpm6100m000) セッションの [計画] タブを参照)。活動 (tpss2100m000) セッションに表示される料金ブレイクダウン構造は、フィジカルブレイクダウンの入力として使用されます。LN では各活動についてシリアル番号付品目が作成されます。最上位要素は、フィジカルブレイクダウン内で最上位シリアル番号付品目として使用されます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。
- [要素構造]
予算の最上位要素が使用されます (プロジェクト (tpdpm6100m000) セッションの [予算] タブを参照)。要素および予算構造 (tpptc1509m000) セッションに表示される要素構造は、フィジカルブレイクダウンへの入力として使用されます。LN で、各要素についてシリアル番号付品目が作成されます。最上位要素は、フィジカルブレイクダウン内で最上位シリアル番号付品目として使用されます。シリアル番号付品目のシリアル番号は、マスクに従って作成されます。

ステップ 3: [設置グループ] フィールド

新規作成されたフィジカルブレイクダウンが属する設置グループのコードを入力します。LN では、新規作成された最上位シリアル番号付品目を指定する設置 (tsbsc1110m000) セッションで設置が作成されます。

部品表からフィジカルブレイクダウンを作成するには

フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを使用して、部品表 (BOM) からフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

部品表からフィジカルブレイクダウンを作成すると、LN 製造の部品表 (tibom1110m000) セッションの有効品目が、LN サービスのシリアル番号付品目 (tscfg2100m000) セッションに直接コピーされます。品目サービスデータがない場合、LN は、品目タイプおよび品目グループについてメンテナンスされている品目サービスデフォルトを使用して、サービスに品目を作成します。

部品表からフィジカルブレイクダウンを作成するには

1. フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションを開始します。
2. [ソース] フィールドで [部品表] を選択します。
3. [納入] オプションを使用して、(販売後) 販売からフィジカルブレイクダウンを作成します。販売オーダーの最終品目の製造部品表がフィジカルブレイクダウンにコピーされます。このチェックボックスをオンにすると、[選択範囲] グループボックスのフィールドを使用して、一定範囲の設置グループ、品目、またはシリアル番号付品目からフィジカルブレイクダウンを作成できます。ここで選択する範囲に対して、フィジカルブレイクダウンが作成されます。
4. [有効性のチェック] チェックボックスをオンにすると、品目をフィジカルブレイクダウンにコピーする前に品目の有効性がチェックされます。

LN は、次を確認します。

品目が改訂管理され、販売納入から派生したものである場合、LN は、販売オーダーラインからの改訂をチェックします。LN は、指定された品目および改訂について設計品目の発効日をチェックします。

品目の改訂管理を行わずに、品目が販売納入から派生したものでない場合、LN により、[販売の構成日] フィールドに基づいて、販売からの発効日がチェックされます。

品目が販売納入からのものでない場合、LN は、入力されたとおりに有効日を受け入れます。

- 有効化構成: LN が部品表 (BOM) からフィジカルブレイクダウン構造を作成する場合、有効化構成は確認とみなされます。有効化構成に属している品目は、サービスでのみ作成されます。有効化構成は、シリアル番号付品目からチェックされます。有効化構成がシリアル番号付品目に存在しない場合、品目の発生元が販売であれば LN により、販売オーダーラインから有効化構成がチェックされます。
- ソースが見つからない場合、部品表を使用: フィジカルブレイクダウン構造を完成状態構造または品目ブレイクダウンから作成するときこのチェックボックスをオンにしておきソース品目が見つからない場合、LN によりその品目の部品表がフィジカルブレイクダウン構造にコピーされます。
- 整合性チェック: フィジカルブレイクダウンが製造 BOM から直接生成される場合、LN は、LN 製造および LN サービスの両方で整合性チェックを実行して、構造が不一致なしで定義されていることを確認します。そのような構造の品目は、関連する構成管理と適切なサービス品目データを使用して LN サービスで定義し、整合性をチェックする必要があります。

LN は、次の整合性チェックを実行します。

サービスに関連する品目と関連のない品目を区別するために、LN により、構成管理品目、すなわちシリアル番号付品目または見込品目がフィジカルブレイクダウンにコピーされます。品目に利用できるサービス品目データがない場合、サービスデフォルトに基づいて、品目データが品目 - サービスで作成され、フィジカルブレイクダウンにコピーされます。

注意

製造部品表からフィジカルブレイクダウン構造にコピーされるすべての品目についてサービス品目データを作成する必要があります。

LNは、構造構成に関して整合性をチェックします。シリアル番号付品目は常に、見込品目より上位に位置付けて、構造と品目定義との整合性を保持する必要があります。LNは、構造構成で不整合が検出され、エラーレポートが生成されると、コピーを開始します。

LNは、次の例に示されているようにシリアル番号付品目が見込品目より下位にあると、エラーレポートを出力します。

例

レベル	品目	構成管理	品目サービスデータの存在
0	X	シリアル番号付	はい
1	Y	見込	はい
2	A	シリアル番号付	はい ----- 問題 1
2	B	なし	いいえ
1	Z	見込	はい
2	A	シリアル番号付	はい ----- 問題 2
3	B	なし	いいえ
4	C	見込	はい ----- 問題 3

3つの問題はすべて、見込品目より下位に存在するシリアル番号付品目が原因で発生します。

LNは、次のエラーレポートを生成します。

品目 X については、次の理由から PBD を生成できません。

- 親品目 (Y-見込) の構成管理が、子品目 (A-シリアル番号付) よりも下位に設定されている。
- 親品目 (Z-見込) の構成管理が、子品目 (A-シリアル番号付) よりも下位に設定されている。
- 親品目 (B-なし) の構成管理が、子品目 (C-見込) よりも下位に設定されている。

LNは、部品表 (BOM) 内のループの整合性をチェックします。2つの見込品目が逆の順位で発生した場合、既存の構造定義との関連から、それらの見込品目が結果的に 1 つのループとなることがあります。

LNは、次の例に示すように部品表内のループを検出した場合、エラーレポートを出力します。

例

レベル	品目	構成管理	品目サービスデータの存在
0	X	シリアル番号付	はい
1	Y	シリアル番号付	はい
2	A	シリアル番号付	はい
2	B	シリアル番号付	はい
1	Z	シリアル番号付	はい
2	A	シリアル番号付	はい
3	B	シリアル番号付	はい
4	X	シリアル番号付	はい ----- 問題 1

LN は、次のエラーレポートを生成します。

品目 X については、次の理由から PBD を生成できません。

- 部品表でサイクルが検出された。

フィジカルブレイクダウンを削除するには

フィジカルブレイクダウン、関連する最上位のシリアル番号付品目、および関連するすべての子シリアル番号付品目を削除するには、フィジカルブレイクダウンの削除 (tscfg2210m600) セッションを使用します。

このセッションを使用して、フィジカルブレイクダウン、関連する最上位のシリアル番号付品目、および関連するすべての子シリアル番号付品目を同時に削除します。

フィジカルブレイクダウンから品目およびすべての子品目を削除するには、品目とそのシリアル番号を入力します。

フィジカルブレイクダウンの削除時にエラーが発生した場合にエラーレポートを生成するには、[エラーレポートの生成] チェックボックスをオンにします。

注意

状況が「有効」であるか、または設置グループにリンクされているシリアル番号付品目を削除することはできません。

設置グループを定義するには

設置グループを定義することができます。設置グループの構造をマニュアルで定義することも、次のものから設置グループを生成することもできます。

- サービス BOM
- 購買オーダー
- 販売オーダー
- プロジェクトの作業のブレイクダウン構造
- 要素構造

シリアル番号付品目のグループのロケーションとして、設置グループを定義することもできます。主要データとして、設置グループのロケーション詳細およびサービスセンタ詳細があります。その他の詳細は、下位レベルのシリアル番号付品目のデフォルトとしてのみ使用されます。

設置グループは、次の方法で作成することができます。

- 設置グループ (tsbsc1100m000) セッションでのマニュアルでの作成
- LN による自動生成

設置グループをマニュアルで作成するには

設置グループ (tsbsc1100m000) セッションを使用して設置グループを作成します。

次の点に注意してください。

- 所有権
設置グループの所有者を指定する必要があります。設置グループが取引先に所属する場合は、[所有者] フィールドから取引先を選択します。自社が設置グループを所有する場合は、[所有者] フィールドを空白のままにして、[所有部署] フィールドから設置グループを所有する部署を選択します。たとえば、製造機械を使用するワークセンタを選択できます。
- LN では、設置グループを所有する販売先取引先または部署は、販売先取引先 (tccom4510m000) から派生します。
- 一般サービスパラメータ (tsmdm0100m000) セッションの [サービスエリアの使用] チェックボックスがオンの場合、サービスエリアを入力する必要があります。

設置を作成するには

設置グループに属するシリアル番号付品目のリストを作成するには、設置を定義する必要があります。

設置グループの設置を作成するには、次のステップを実行します。

1. 設置グループ (tsbsc1100m000) セッションの適切なメニューで [ライン番号] をクリックします。設置 (tsbsc1110m000) セッションが開始されます。
2. 設置 (tsbsc1110m000) セッションで [新規] をクリックします。
3. 設置詳細を入力します。

品目ブレイクダウンを修正するには

品目ブレイクダウンの品目の置換 (tscfg1210m000) セッションで、品目ブレイクダウンを修正することができます。

注意

- 品目ブレイクダウンに対して、品目 (構成要素) の置換または削除を選択することができます。
- 処理レポートおよびエラーレポートの出力を選択できます。
- 古い品目と新しい品目が同じであっても良いのは、新しい品目に異なる品目改訂を入力した場合だけです。
- 変更要求を使用して品目ブレイクダウンを修正することもできます。
- 現行の品目ブレイクダウンの構成要素が変更オーダに関連付けられている場合、品目ブレイクダウンの品目の置換 (tscfg1210m000) セッションでこの構成要素を置換または削除することはできません。

品目ブレイクダウンの品目を置換するには

1. 古い品目を置換領域に入力します。
2. 新しい品目を置換後領域に入力します。
3. 新しい品目が発効する日付を入力します。
4. 古い品目を品目ブレイクダウン内で失効品目として保持する場合は、[旧品目を保持] チェックボックスをオンにします。
5. 品目を置換する、品目ブレイクダウンの範囲を入力します。
6. [置換] をクリックします。

品目ブレイクダウンから品目を削除するには

1. 削除する品目を置換領域に入力します。
2. [置換後] 領域の [品目] フィールドは、空のままにします。
3. LN で品目が失効する日付を入力します。
4. 削除する品目を失効品目として保持する場合は、[旧品目を保持] チェックボックスをオンにします。
5. 品目を置換する、品目ブレイクダウンの範囲を入力します。
6. [置換] をクリックします。

標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成するには

標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成 (tscfg1210m200) セッションを使用して、製造 BOM を品目ブレイクダウンにコピーすることができます。この機能は設置グループを構成する場合に便利です。

注意

- このセッションを使用するには、製造を導入する必要があります。導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションで、[製造 (TI)] チェックボックスをオンにします。
- 品目ブレイクダウンには、製造 BOM より少ない品目しか含めることができません。

作業手順

1. 品目ブレイクダウン (tscfg1110m000) セッションを開始します。
2. 適切なメニューの [標準製造 BOM から作成] をクリックして、標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成 (tscfg1210m200) セッションを開始します。
3. [製造 BOM] フィールドで、コピー元となる最上位品目を入力するか選択します。
4. [設定] の [有効性のチェック] チェックボックスをオンにして、LN が製造 BOM 品目の有効性をチェックするために使用する日付を入力します。LN で、入力した日付の時点で有効な品目のみがコピーされます。品目をすべてコピーするには、[有効性のチェック] チェックボックスをオフにします。
5. 作成をクリックします。

注意

- 製造 BOM の最上位品目に品目ブレイクダウンがすでにある場合は、「品目ブレイクダウンがすでに存在しています。上書きしますか?」という質問が表示されます。[はい] をクリックすると、現行の品目ブレイクダウンが完全に置換されます。
- 製造 BOM 品目の品目タイプおよび品目グループの組合せに関して、品目 - 一般デフォルト (tcibd0502m000) セッションにデフォルト品目データがあることを確認します。
- カスタマイズ品目の BOM をコピーすることはできません。カスタマイズ製品構造を標準構造にコピー (tipcs2232m000) セッションでカスタマイズ BOM を標準製造 BOM にコピーして、このトピックで説明されているように処理を進めることができます。
- LN では、必ず親品目に品目ブレイクダウンが 1 つ作成されます。したがって、製造部品表の最上位品目の数量が 1 より大きい場合、LN では BOM 品目の数量が最上位品目の数量である 1 に変換されます。
- 「製造品目の品目ブレイクダウンを作成し、BOM の数量を 1 より大きくすると、品目ブレイクダウンの構成要素の数量が小数になる可能性があります。」
- 品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションまたは品目 - サービスデフォルト (tsmdm2105m000) セッションにリストされている製造 BOM (P-BOM) 品目は、新しい品目ブレイクダウンにコピーされます。注意 品目 - サービスデフォルト (tsmdm2105m000) セッションにのみリストされている P-BOM 品目は、品目ブレイクダウンを新規作成するときに (デフォルトに基づいて) 品目 - サービス (tsmdm2100m000) セッションにコピーされます。
- LN では、数量がゼロ (0) より大きい製造 BOM の品目がコピーされます。

- LN では、シリアル番号で管理される製品 BOM の品目がコピーされます。品目 (tcibd0501m000) セッションで、BOM 品目の [シリアル番号付] チェックボックスがオンになっていることを確認します。
- フィジカルブレイクダウン構造の作成 (tscfg2210m000) セッションで、品目ブレイクダウンからフィジカルブレイクダウンを作成することができます。

サービス検査と予防メンテナンスシナリオ

特定の状況において品目の変数値 (計測数量) を決定する場合に、計測を使用します。例: タイヤの溝の深さ。検査中にシリアル番号付品目の計測が登録されると、事前定義のメンテナンストリガに基づいて、メンテナンス通知が生成されます。

計測のタイプによって、傾向 (予測される挙動) および計測単位を使用するかどうかを指定します。英数字の計測タイプの場合、絶対値の代わりに計測条件に使用されるので、傾向および計測単位を定義することはできません。

計測タイプの使用対象は下記のとおりです。

- シリアル番号付品目の作業オーダーに関する検査
- シリアル番号付品目のサービスオーダーに関する検査
- シリアル番号付品目のみに関する検査
- 予防メンテナンスのための計画活動に関して、想定される計測
- 契約適用範囲ラインにあるサービス契約で使用可能な、シリアル番号付品目でのカウンタ値

メンテナンストリガセット

メンテナンストリガセットとは、計測の実行時にメンテナンス通知のトリガに使用されるメンテナンストリガのセットです。メンテナンストリガセットは計測タイプにリンクされます。メンテナンストリガセットは、シリアル番号付品目にリンクされているカウンタ読取にリンクできます。

メンテナンストリガ

メンテナンストリガは、いつ品目にメンテナンスを実行する必要があるかを指定するトリガです。メンテナンストリガは計測タイプにリンクされ、1つまたは複数のメンテナンストリガで構成されています。計測タイプとメンテナンストリガセットの関係は、1 対多です。計測を (計測タイプを使用して) 実行すると、Infor LN で計測にメンテナンストリガが定義されているかどうかをチェックされます。メンテナンストリガを定義してトリガすると、メンテナンス通知が生成されます。通知のフォローアップアクションを担当する従業員に、メンテナンス通知を割り当てることができます。

メンテナンストリガ割当を使用して、特定位置で計測を実行するときのどのトリガセットをどの品目、品目グループなどに適用するかを指定します。メンテナンストリガセットは、発効日/失効日が設定されているルールブックです。トリガセットが選択されるオーダーには次のものがあります。

- シリアル番号付品目のカウンタ読取で指定されるメンテナンストリガセット
- メンテナンストリガ割当ルールブック
- 参照活動計測タイプに関するメンテナンストリガ

■ 計測タイプ

メンテナンストリガセットルールのシミュレート (tsmdm0276m000) セッションを使用して、使用するトリガセットを指定します。

検査

検査は、サービスオーダー/作業オーダーを計画するときに、マニュアルで (品目に直接) 作成することも、または Web サービスや参照活動を使用して生成することもできます。

検査 (計測タイプ) は、参照活動 - 計測タイプ (tsacm3160m000) セッションで品目 - 参照活動の組合せについて定義できます。サービスオーダー活動または作業オーダー活動に関する検査を行って参照活動を定義する場合、検査 (tscfg3100m000) セッションで検査を生成します。

次のようにして検査を生成します。

- 計測から生成する、つまり、実行する必要がある検査
- フィジカルブレイクダウン構造から取得する
- 別のシリアル番号付品目から取得する
- その他のカウンタ読取から取得する

注意

事前検査では、計測タイプおよびメンテナンストリガセットを設定する以外に、カウンタ読取も定義する必要があります。

カウンタグループ

カウンタグループは、高度な計測シナリオのサポートに使用できます。カウンタグループは数字計測タイプにのみ使用します。カウンタグループは次のことに使用できます。

- 今後実行するメンテナンスの傾向を計算する
- その他の品目またはその他の計測から計測を取得する
- 1つの測定に複数のトリガセットを定義する

シリアル番号付品目の作成時にカウンタグループを使用して、カウンタ読取をデフォルトに設定します。カウンタ読取時に、検査の実行元を指定できます。

傾向情報もカウンタ読取に定義できます。傾向の計算を使用して、メンテナンスが必要な時期を予測できます。傾向の計算方法は次のとおりです。

- マニュアル入力された傾向に基づく
- フィジカルブレイクダウンから取得 (カウンタがフィジカルブレイクダウン構造から取得された場合にのみ適用)
- 特定品目から取得 (カウンタが別のシリアル番号付品目から取得された場合にのみ適用)
- 別の計測タイプのカウンタから取得 (特にウェアが使用量に基づいている場合)

シリアル番号付品目を作成すると、シリアル番号付品目のデフォルトのカウンタ読取が作成されます。Infor LN では、サービス品目データから計測タイプがデフォルト設定されます。カウンタ値をマニュアルで更新したり、カウンタ値をリセットしたりすることができます。カウンタ値のリセット方法を指定するリセットルールを定義できます。

メンテナンス通知

メンテナンス通知は、検査中にシリアル番号付品目に計測を登録するときに適用可能な、メンテナンストリガに基づいて生成されます。計測タイプおよび計測の位置を基準にして、該当するメンテナンストリガセットが判断されます。Infor LN は次の検索ロジックを使用します。

1. シリアル番号付品目に定義されたカウンタ読取から
2. メンテナンストリガセット割当から
3. 参照活動から
4. 計測タイプから

メンテナンス通知フォローアップ

メンテナンス通知に基づいて、メンテナンスに必要なフォローアップを決定できます。メンテナンス通知が生成されるときに、メンテナンス通知を次のように設定できます。

- 一時的に無視
- 常に無視
- 計画活動、サービスオーダー/作業オーダーなどに転送

メンテナンス通知の転送

メンテナンス通知でフォローアップ活動を定義し、特定のシリアル番号付品目に実行する必要がある次のメンテナンスを指定します。このようなメンテナンス通知は、サービスオーダー、内部作業オーダー、サービスオーダー見積、およびメンテナンス販売見積などの各種オブジェクトに転送できます。

予防メンテナンスシナリオ

予防メンテナンスシナリオは計画活動の生成の基準として使用します。メンテナンスシナリオには、計画活動を生成する基準となるシナリオラインがあります。時間基準 (例: 1 年に 12 回)、事前定義されたパターンに従った時間基準 (例: 2 か月ごとの小規模メンテナンス後、3 か月ごとの大規模メンテナンス後、5 か月ごとの小規模メンテナンス後)、そして使用基準です (例: 10000 km 走行後、またはタイヤの溝が 3 mm 未満になった場合にメンテナンスを実行)。

予防メンテナンスシナリオライン

予防メンテナンスシナリオラインに基づいて、メンテナンス計画がシリアル番号付品目に生成されます。次のタイプのシナリオを定義できます。

- 使用基準のシナリオ
使用基準のメンテナンスシナリオラインには、計画を生成するシリアル番号付品目の品目と一致する特定子品目に、シナリオラインを定義します。計測タイプ、メンテナンストリガ、およびカウンタ読取も定義します。カウンタ読取には、計画活動を計算するため、傾向情報が含まれている必要があります。メンテナンストリガセットを定義し、適用可能な傾向情報を取得します。定義済のカウンタ値および開始日に関しては、傾向データおよびメンテナンストリガセットに基づいて、最初の想定メンテナンスの時期が決定されます。この計画日付が定義済のタイムフェンス内である場合は、適用可能なメンテナンストリガ

に定義されているフォローアップ活動に関して計画活動が生成されます。この処理を反復するには、新しい計画日付を次の反復のカウンタ開始日として使用します。デフォルト開始値にカウンタリセットルールを定義すると、次のメンテナンスの時期を計算するために使用するカウンタ値がリセットされます。このタイプは、高度な検査シナリオにしか使用できません。

- 時間基準のシナリオ
時間基準のシナリオは、計画する必要がある参照活動、および時間枠内での実行回数を定義するために使用します (例: 1 年に 12 回実行する検査)。時間基準のメンテナンスシナリオラインでは、マスタ工順に基づいて計画を生成する処理は、参照活動に関する計画を生成する場合とは異なります。マスタ工順に基づいて計画を生成するときに、複数の工順オプションが存在する場合は、デフォルト工順オプションを定義します。それ以外の場合、Infor LN でエラーレポートが生成されます。メンテナンス計画の生成 (tsspc2200m000) セッションの [開始メンテナンスサイクル] フィールドに設定されている値に基づいて、新しい開始日が決定されます。開始日がタイムフェンス内にある場合は、工順作業がマスタ工順から降順で読み込まれ、時間内に計画されます。参照活動に計画を生成すると、同じロジックを使用して計画活動の開始日が決定されます。
- パターンを使用する時間基準のシナリオ
このシナリオは参照活動を実行し、これに計画活動を計画する必要がある場合に、相対点を使用してパターンを定義するために使用します。時間基準パターンラインに基づいてメンテナンス計画を生成するときに、マスタ工順に基づいて計画を生成する処理は、参照活動に関する計画を生成する場合とは異なります。マスタ工順に基づいて計画を生成するときに、複数の工順オプションが存在する場合は、デフォルト工順オプションを定義します。定義しなかった場合には、エラーレポートが生成されます。計画活動の開始日を決定するには、活動パターンラインに定義されているカレンダーの時期を使用します。計画日付がタイムフェンス内にある限り、この処理は各パターンラインで反復されます。

予防メンテナンスシナリオラインパターン

予防メンテナンスは、不定期に実行することもできます。その場合、メンテナンスを実行する必要のある時期を定義する相対点を使用して、時間基準パターンを定義します。

メンテナンス計画の生成

メンテナンス計画の生成 (tsspc2200m000) セッションを使用して、予防メンテナンスシナリオを適用するシリアル番号付品目に関して、メンテナンス計画を生成します。メンテナンスシナリオのルールブックで、適用可能なシナリオを定義します。

注意

メンテナンス計画を生成できるのは、シリアル番号付品目にメンテナンスシナリオが定義されている場合のみです。

ASCII ファイル

文字や句読点を数値で表現するために ASCII 標準コードを使用するテキストファイル。ASCII コードは復帰、バックスペースなどを示すコントロールも含みます。

プロジェクト

定義または実行用に割り当てられた、指定時間および財政上の制限内で達成すべき特定の目的を持つ計画

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

ライフサイクル

品目の経済的寿命

変更オーダー

あらゆる変更を通じて記録、承認、および実行するために使用するオーダー

たとえば、変更オーダーはエンジニアの問題や業務プロセスに関連付けることができます。

活動

時系列予算に使用する活動構造の最小構成要素。活動構造におけるプロジェクトの一部を示すエンティティです。

LN では、次の活動タイプを扱います。

- [WBS 要素]
- [統制勘定]
- [ワークパッケージ]
- [計画パッケージ]
- [マイルストーン]

次を参照してください: 活動構造

品目

標準メンテナンス品目

シリアル番号付品目

一意の永続シリアル番号が割り当てられた標準品目の実体。この番号により、個別の品目をライフタイム全般 (設計、製造、テスト、導入、メンテナンスなどの各フェーズ) にわたって追跡することができます。シリアル番号付品目には、他のシリアル番号付部品が含まれていることがあります。

シリアル番号付品目の例としては、自動車 (車両識別番号)、航空機 (尾翼の機体番号)、パソコンなどの電子機器 (シリアル番号) などが挙げられます。

シリアル番号付品目

品目コード (製造元部品番号) と連番の組合せで固有に識別した品目

マスク

識別コードの構成を示すテンプレート。マスクは、カレンダー作業時間の更新 (tcccp0226m000) のいずれかのセッションを通じてシフトの ID を生成するために使用します。

次を参照してください: マスクセグメント

ロット

特定の (ロット) コードで識別され、一括して製造および保管される大量の品目。ロットは商品の識別に使用します。

完成状態構造

シリアル番号を含む、実際に組み立てられた製品の構造

シリアル番号付品目グループ

類似の機能を持つシリアル番号付品目のグループ

フィジカルブレイクダウン

構成要素である品目の親子関係によって定義された、シリアル番号付品目の構成と構造。フィジカルブレイクダウンは、マルチレベル構造またはシングルレベル構造で表示することができます。

販売オーダ

特定の条件にしたがって取引先に品目またはサービスを販売するために使用される合意。販売オーダは、1 つのヘッダおよび 1 つ以上のオーダラインから成ります。

取引先データ、支払条件、受渡条件などの一般オーダデータは、ヘッダに保存されます。価格合意や納期など、発注される実際の品目についてのデータは、オーダラインに入力されます。

変更要求

変更要求により、変更処理が開始されます。変更要求は、製品の技術革新や改良を行うための、市場の需要、製品レビュー、顧客の反応など、さまざまな要求ソースから記録されます。各変更要求フォームに保存されている情報により、さまざまなソースから要求されたさまざまな変更を追跡することができます。

位置

計測を実行するポイント

例

タイヤの溝の計測で、左前/右前などを指定します。

活動構造

プロジェクトの全体のスコープを構成および定義する階層構造。各レベルは作業プロジェクト定義を示し、この定義はレベルごとに徐々に詳細になります。要素構造とは異なり、活動構造は活動時間型です。

設置グループ

同じロケーションで、同じ取引先が所有する一連のシリアル番号付品目。シリアル番号付品目を設置グループに集めることで、まとめてメンテナンスすることができます。

機能要素

同じ機能を持つ交換可能な品目のグループ。機能要素は、品目ブレイクダウン、フィジカルブレイクダウン、および参照活動で使用できます。

例

構成に対するメンテナンス活動を定義するときに、機能要素を指定することができます。このように、活動をその機能要素の範囲となるすべての品目に適用し、同様の品目に何度も同じ参照活動が行われないようにします。

セグメント化

品目コードを異なる論理部分 (セグメント) に分割すること

これらのセグメントは、セッションでは別々のフィールドとして表示されます。セグメントには次のようなものがあります。

- プロジェクトセグメント
- クラスタセグメント
- 品目識別番号

見込品目

顧客オーダーを受け取る前に生産または購買される品目。

見込品目が製造品目の場合、見込生産製造環境で生産されます。見込品目が一般品目の場合は、PCS プロジェクトを使用せずに製品バリエーションが構成されます。

部品表 (BOM)

製造品目で使用されるすべての部品、原料、および半組立品のリスト。このリストには、品目の製造に必要な各部品の数量が示されています。部品表は、製造品目のシングルレベルの製品構造を示します。

カスタマイズ品目

特定のプロジェクトについての顧客仕様で生産された品目。カスタマイズ品目は、カスタマイズ部品表やカスタマイズ工順を持つことができ、標準品目としては通常は使用できません。ただし、カスタマイズ品目は標準品目または一般品目から派生できます。

製造部品表

部品表の代替用語で、設計部品表と製造部品表を識別するために使用されます。

GBF

次を参照してください: グラフィカルブラウザフレームワーク (ページ 40)

要素構造

予算の基盤となる、複数レベルで複数の親を持つ、階層的ツリー状の要素の構造

品目ブレイクダウン

標準品目の構成要素のリスト。品目ブレイクダウンは、マルチレベル構造またはシングルレベル構造として表示することができ、フィジカルブレイクダウンの入力として使用することができます。

設置

設置グループに属する (シリアル番号付) 品目のリスト

プロジェクトブレイクダウン構造

プロジェクトで定義された、料金 (要素) ブレイクダウン構造または要素構造

グラフィカルブラウザフレームワーク

ツリー形式の階層構造を表示するために使用するツール。多くの場合、このツールを使用して、ドラッグアンドドロップ操作を行うこともできます。

例: ブレイクダウン構造の表示

頭字語: GBF

サービスエリア

1 人または複数のサービスエンジニア (従業員) が担当する特定の地理的エリア。サービスエリアはサービスセンタにリンクすることができます。

サービス従業員

サービス部署に勤務する人

サービスエンジニア

所属する組織または顧客のサイト内でサービス活動を実行する、訓練を受けた技術者

サービス品目データ

サービス品目に関する情報

傾向

数字計測の傾向を計算するために必要な情報

索引

- ASCII ファイル, 37
 - サンプル, 16
 - 例
 - ASCII ファイル, 16
 - インストール, 10
 - プロジェクト, 37
 - 適切なメニュー, 37
 - ライフサイクル, 37
 - 変更オーダー, 37
 - 活動, 37
 - 品目, 38
 - シリアル番号付品目, 38, 38
 - サービス, 12
 - マスク, 38
 - ロット, 38
 - 完成状態構造, 38
 - シリアル番号付品目グループ, 38
 - 使用, 19
 - シリアル番号付品目グループの使用, 19
 - フィジカルブレイクダウン, 29, 38
 - ASCII ファイルからの作成, 24
 - プロジェクトブレイクダウン構造からの作成, 25
 - メンテナンス, 19
 - 完成状態構造からの作成, 20
 - 販売オーダー (ライン) からの作成, 23
 - 品目ブレイクダウンからの作成, 22
 - 販売オーダー, 38
 - 代替品目, 14
 - 計測, 33
 - 変更要求, 39
 - 位置, 39
 - 活動構造, 39
 - 構成管理, 26
 - 構成管理 (CFG), 7
 - 設置グループ, 9, 39
 - フィジカルブレイクダウン構造, 10
 - 機能要素, 12, 39
 - シリアル番号付品目ダッシュボード, 14
 - 設置グループレイアウト例, 15
 - ブレイクダウン例
 - 構成, 15
 - 構成データの設定, 17
 - フィジカルブレイクダウンのメンテナンス, 19
 - ブレイクダウン
 - フィジカルのメンテナンス, 19
 - フィジカルブレイクダウンの削除, 29
 - 設置グループの定義, 30
 - 品目ブレイクダウンの修正, 31
 - 品目ブレイクダウンの品目の置換, 31
 - 品目ブレイクダウンからの品目の削除, 31
 - 標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成, 32
 - 製造 BOM から品目ブレイクダウン
 - コピー, 32
 - 標準製造 BOM
 - 標準製造 BOM から品目ブレイクダウンを作成, 32
 - セグメント化, 39
 - 見込品目, 39
 - 部品表 (BOM), 40
 - カスタマイズ品目, 40
 - 製造部品表, 40
 - GBF, 40
 - 要素構造, 40
 - 品目ブレイクダウン, 40
 - 設置, 40
 - プロジェクトブレイクダウン構造, 40
 - グラフィカルブラウザフレームワーク, 40
 - サービスエリア, 40
 - サービス従業員, 40
 - サービスエンジニア, 41
 - サービス品目データ, 41
 - 傾向, 41
-
